

事 務 連 絡

令和元年 5 月 3 1 日

各正会員 責任者 様

公益社団法人全国産業資源循環連合会

専務理事 森 谷 賢

**「令和元年度海洋環境保全推進月間」の実施について（依頼）**

当連合会の事業の運営につきましては、日頃から格別のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、標題の件につきまして、海上保安庁警備救難部長から別紙のとおり周知依頼がございました。

つきましては、貴職におかれましても、別紙により実施される海洋環境保全推進月間の趣旨をご理解いただき、貴協会関係会員に対し周知いただく等、海洋環境の保全につきましてご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



保警環第4号

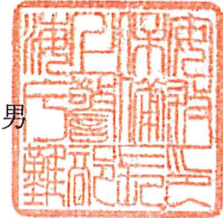
令和元年5月17日

公益社団法人

全国産業資源循環連合会会長 殿

海上保安庁警備救難部長

星 澄男



令和元年度海洋環境保全推進月間の実施について（お願い）

時下、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、平素から海上保安業務に対する御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

海上保安庁では、「未来に残そう青い海」をスローガンに、5月30日から6月30日までの1か月間を「海洋環境保全推進月間」としています。

油及び有害液体物質による汚染に対しては、主として海事関係者、漁業関係者を対象とした海洋環境保全講習会、訪船指導等を行うことにより、排出原因として最も多い「バルブ開閉不確認」、「タンク不計測」、「ポンプ操作不適切」等の初歩的なミスの防止、及び船内で油等の漏出が起きた際に海上への流出を防止する措置の実施（オーバーフロータンクの設置、スカッパの閉鎖等）について重点的に指導を実施します。

また、油の排出原因としては、取扱不注意に次いで船舶事故によるものが多いことから、海難防止についても併せて指導を実施いたします。

廃棄物による汚染に対しては、主として漁業関係者や若年層を含む一般市民を対象とした海洋環境保全教室、訪問指導、漂着ごみ分類調査等を行うことにより、不法投棄防止のための呼びかけ並びに廃棄物が漁業及び海洋環境に与える影響について重点的に指導・啓発を実施します。

つきましては、貴会におかれましても同月間の趣旨を御理解いただき、傘下会員への周知、当庁において実施する指導・啓発活動への御協力について、格段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。